



## 秋の散歩道 B. シンポジウム I

日時：10月25日（土）10時～12時

会場：群馬大学保健学科新棟1階中講義室



詳細はこちら

### テーマ：「待ったなしの防災対策」

[https://www.health.gunma-u.ac.jp/?page\\_id=10759](https://www.health.gunma-u.ac.jp/?page_id=10759)

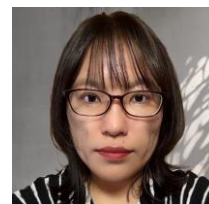
群馬県は災害が少ない県だと思いませんか？ 災害は今や全国どこでも発生し、被害が生じています。自分の身は自分で守るは基本ですが、加えて近隣住民と力合わせる。「待ったなしの防災」について、皆さまと考える会とします。また、防災グッズも披露いたします。防災対応ができる力を習得しましょう。ぜひ、ご近所さまといらしてください。

座長：保健学研究科長 齋藤貴之

#### 1) 「保健学科避難訓練介入研究からてきたこと」

群馬大学大学院保健学研究科博士後期課程 崎山恵里那

「防災は大事」と思っている、いざという時に本当に動けるでしょうか？ 予告なしの避難訓練で見えてきた“意識と行動のギャップ”を共有し、防災をもっと身近に考えるきっかけにします。



#### 2) 「今こそ考えたい『地区防災』一命を守るための基本と変わりゆく防災対策」

群馬大学大学院保健学研究科 看護学准教授 石川麻衣

激甚化する災害に対し、「自助」と希薄化した「共助」の再構築が喫緊の課題です。そこで、防災行政の基本原則と最近の政策動向を踏まえ、令和時代における地区防災の状況と最近の取り組みのポイントを解説します。



#### 3) 「防災：公衆衛生でできること」

群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学 准教授 山崎千穂

災害は命だけでなく健康も左右します。薬や体調管理、ご近所との助け合いなど、公衆衛生の視点から誰にでもできる備えと工夫を紹介します。今日からできる身近な行動について、一緒に考えてみませんか。



#### 4) 「防災教育の誤解と効果的なポイント」

群馬大学大学院理工学部 教授 金井昌信

住民に「自助」や「共助」を促すためには、広い意味での防災教育が必要不可欠です。学校における防災教育とはどうあるべきか？ 大人を対象とした防災教育はそもそも実施することができるのか？ 実効性の高い防災教育のあり方について改めて考えてみましょう。



#### 5) 全体討議：防災グッズを紹介しながら、平時の備えについて意見交換します

市民代表：内田美貴防災士

皆様のご来場を心よりお待ちしております。  
どうぞお気軽にお越しください。

事前登録はこちらから：<https://forms.gle/CUUH5ExV2SZWYsdh8>

本事業は、JST 共創の場形成支援プログラム JPMJPF2301 の支援を受けています。

